



MBT NEWS LETTER

第331号
'25/03/21

3月19日、MBTコンソーシアム理事会をハイブリッドで開催 2025年度事業計画と収支予算計画を審議



↑対面とWEBで
実施の理事会
の様子



←議長を務めた
細井裕司理事長

- ・一般社団法人MBTコンソーシアムは、定款37条に則って、細井理事長の招集のもと、3月19日（火）15時より、2024年度第5回目となる理事会をハイブリッド形式で開催し、4名の理事が対面で、3名の理事がWEBで、3名の理事・監事が議決権行使書の提出で参加し、2025年度の事業計画と収支予算計画を審議しました。
- ・審議の結果、以下の内容が決議されました。詳細は後日ホームページで紹介します。
- ・審議の中で細井理事長より、MBTは産業創生と社会貢献の流れが進展し、特に多くの企業が社会貢献に参加し成果が上がっている。広報をしていく。今後はどのようにMBTを発展させるか知恵出しを、と要請がありました。
- ・2025年度は大阪・関西万博の開催、奈良医大80周年、奈良医大新キャンパス（畝傍山キャンパス）開設、MBTコンソーシアム設立10年目、等の記念Yearです。コロナ期間中にはできなかったMBTコンソーシアム全体会員会議を新キャンパスでお披露目も兼ねて計画して参ります。

2025年度事業計画

◆主要事業活動

新産業創出・新製品開発、健康まちづくり、社会貢献、の3つの活動でMBTの社会的価値向上を目指す

◆そのために

- 1、奈良医大医学知識の積極活用が行える国内唯一無二のMBT活動を広く社会に広報し、部会活動を通して事業活動を実施、加えて会員の拡大を目指す。
- 2、MBTロゴマーク付与による新製品開発事業化支援
- 3、奈良医大発ベンチャー起業伴走支援
- 4、積極的な展示会参加、広報活動

* 主要部会の活動計画

- 1、産学金連携・フリーディスカッション部会：奈良医大と会員間のニーズ・シーズマッチングをより拡大継続。新キャンパスで会員会議を開催する。
- 2、抗老化部会：サプリメント、食品、抗老化機器等、関連企業との連携テーマ発掘を継続。
- 3、通信部会：新たな通信技術やオンライン診療手段の組み合わせで、災害時医療を提案。
- 4、万博テーマ部会：大阪・関西万博やけいはんな万博に参加し、MBTの未来活動を提案。
- 5、スマートコミュニティ部会：先進事例の紹介、うめだ2期エネルギーマネジメント見学会を計画。
- 6、難病克服部会：協賛企業募集、WEBセミナー、東京大手町で2026年1月にMBT映画祭を計画。

2025年度収支計画

◆収入計画

・会費収入	180口×5万円	900万円
・繰越金、連携活動費、雑収入		1760万円
合計		2660万円

◆支出計画

・広告宣伝費（ジャーナル印刷、広告）	25万円
・事業活動費（セミナー、映画祭、その他）	1390万円
・事業運営費、次年度繰越	1245万円
合計	2660万円

発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内

（公立大学法人）奈良県立医科大学
担当 塩山

TEL：0744-29-8853（直通）、FAX：050-3164-5598、Email：mbt@mbt.or.jp